

# 本草閣 かわら版

第 95 号

平成18年 11月 24日発行

和薬・漢方の本草閣 本店

〒460-0012 名古屋市中区千代田5-21-17 (JR鶴舞駅西)

TEL (052)241-3388 FAX (052)241-3443

JR中央線・地下鉄 鶴舞駅下車

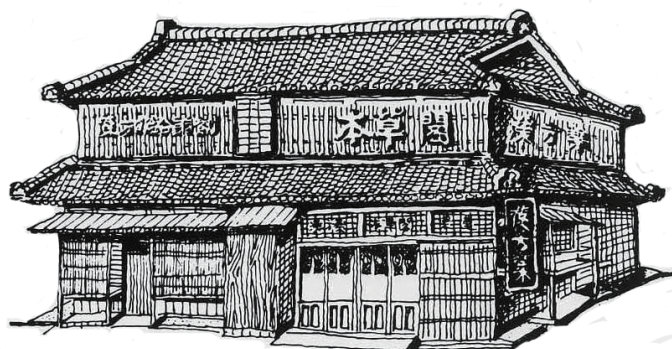
E-Mail kanpouyaku@honsoukaku.co.jp

営業時間 10:00~19:00 定休日 木・日曜 (祝日は営業) 木・日曜が祝日の場合お休み

HP <http://www.honsoukaku.co.jp/>

\* H18年より、祝日は営業しております。定休日は木曜・日曜となります。

\* かわら版はメールでの配信も行っております。



和薬・漢方の本草閣 緑店

〒458-0016 名古屋市緑区上旭1-622(滝の水公園西)

TEL (052)899-0221 FAX (052)899-0236

・名鉄バス 鳴海駅より 滝ノ水口 下車

・地下鉄 野並駅より 市バス(大清水行・太子行)

滝ノ水公園下車

E-mail [midori@honsoukaku.co.jp](mailto:midori@honsoukaku.co.jp)



ペットに漢方薬が有効!



最近、犬・猫等の病に漢方薬を使用される方が急増しております。  
例を挙げてみますと

6ヶ月 20kg ゴールデンリトリーバー 湿疹

動物病院でも治らなかった後ろ足近く陰部付近の「湿疹」。

肝臓・腎臓の漢方薬と青汁で見事に綺麗になり飼い主さんから大喜びされた。

11歳9ヶ月ポメラニアン♂

老衰の為、食欲減、一日中ごろごろとして殆ど動かず、動いても如何にも弱った感じ。

「牛黄」と言う「心臓から全身のすみずみまで血液を巡らす」元気を出す漢方薬(少量の粉薬)を処方。

家族が驚くほど、体調が日増しに快方に向い、以前より足腰がしっかりし、食欲も旺盛となった。

9歳 雑種♂

元気・食欲がなく病院へ行ったところ、自己免疫性の溶血性貧血と診断された。入院させ、酸素部屋で点滴を受けたのだが、みるみる弱っていった。

体を丈夫にする漢方薬と「牛黄」を飲ませたところ、とても良くなり、食欲も出て、以前と同じ元気な生活を送っている。

他にも、白内障、腹水、癌、浮腫み、狭心症・・・等  
と人と同じ考えで漢方薬をお渡ししております。

獣医さんにももらった薬が強すぎ、副作用が出てしまったり、一時的に症状が治っても、身体の中全体から治さなかったため、また何度も同じ症状が出てしまったり、ダイエットさせたいのだけれど獣医さんに行くほどではない、などいろいろなご相談を受けます。

漢方は「病氣」よりも「人」をみます。

動物も人間と同じように、その症状だけを治せばいいという考えではなく、全身を根本から治療します。

その子に合ったお薬で、身体のバランスを整え、内面から優しく症状を治していく漢方薬は愛犬・愛猫等の病にもお勧めです。

## ～民間薬よもやま話～

第43回

ゴオウ

牛黄：牛の胆石(動物生薬)



牛黄は、牛の胆のうや胆管中に稀に発見する「結石」を乾燥させたもので、上薬(命を養う薬)に類別されています。牛千頭に一頭の割合でしか発見できない大変な貴重品で、一番良質な牛黄はオーストラリア産です。牛黄の「効き目」は古来より良く知られており、医学、薬学が高度に発達した現代においても、その需要は増加の一途をたどっています。

金より高価な貴重品で、その昔中国では皇帝に献上され、日本では『大宝律令』の中に、牛を殺した際に牛黄が見つければ政府に献上するよう記載されています。

薬好きだった徳川家康も愛用していたと言われ、一説には、水戸黄門として知られる徳川光圀も印籠のなかに牛黄を携帯していたというエピソードもあります。

作用は「心臓から身体すみずみまでキチンと血液をめぐらせてくれる」大変優れた薬です。



\* 受験生には、牛黄配合の「牛黄清心元」が「頭の良くなる薬」として人気です。精神の安定と、脳に酸素が行き渡らせ、頭脳を活発・クリアにさせる効果があります。飲み方、薬の分量など、詳しくは当店・薬剤師までお問い合わせください。

### <効果・効能>

- ・心臓や心筋の働きを高めて、動悸、めまい、むくみ、息切れなどを軽減
- ・血栓の生成を抑え、血液の流れを良く
- ・赤血球を増やして貧血、立ちくらみ、血色不良などを改善
- ・神経の興奮をしずめ、イライラ・不眠などを改善
- ・胆汁の分泌を盛んにするとともに肝臓の働きを助ける
- ・肝臓や胆嚢の働きを高めて食欲不振などを改善
- ・血行を改善し、肩こり、頭痛、のぼせ等の緩和
- ・血圧を正常にする働き
- ・全身の炎症を抑制

特に60歳以上の方で、疲れやすい方、病がなかなか治らない方、脳梗塞、狭心症、高血圧、肝炎等に。

### 年末年始のお知らせ

12月28日(木)～1月4日(木)までお休みとさせていただきます。

1月5日(金)より平常通り営業致します。

お薬の配送をご希望の方は、12月27日(水)午前中までにご連絡頂きたくお願い申し上げます。



「本草閣かわら版」編集部 編集責任者 川出 [文責 林 譽史朗]